

決算特別委員会で質疑

特色ある市立高校づくりを

横浜市会議員（南区）

仁田まさとし

教育委員会に係る。また、子どもの進路選択

決算第二特別委員会の局の幅が広がる一方、公立

別審査が10月15日に開催高校離れが進む、いわゆ

されました。会派を代表する「私学シフト」を懸念

し、質疑を行いましたので、報告いたします。

「私学シフト」懸念

横浜市立高校は、神奈川県からの設置義務はな

く、様々な変遷を経て定時制、別科を含む11校の

所得制限に関係なく公立高校の授業料無償化が

2025年度から始まりました。少子化に伴い、

生徒数の減少が想定され

ました。同様に来年度から私立高校でも開始され

るなかで、改めて市立高

校の存在意義が問われてくると考えます。

「尖った教育を」

市の予算概要に記載さ

れる「特色ある高校教育

推進費」の記載内容にほ

んど進歩がないことに

危機感を持っています。

京都市を視察した際、

「設置義務がない京都市

立高校の使命・役割は何

か」と同市教委の方に聞

くと「府立高校は総合的

に、市立高校は尖った教

育」と端的に答えられま

した。現に同市の堀川高

校では、99年に探究科を

選挙権年齢が満18歳以上となり、高校生は在学中に選挙権を行使できま

す。高校生が自ら考え、積極的に国家や社会の形

成に参画できる環境を整

えることが大切です。

新図書館の整備

2010年度から全県立高校では、「政治参加

教育」の一環として3年に1回の参議院選挙の際

に、実際の選挙公報を用いて模擬選挙を実施して

います。25年度に同選挙を題材に模擬選挙を行っ

た市立高校は横浜商業高校1校だけでした。そこ

でその理由を問うと、学校教育部長より「各学校

の教育課程を見直す中

はいいと主張しました。

身近にある個々の地域図書館を大切にしながら

新図書館の整備を合わせ

て進め、市立図書館全体のサービスを向上させて

一気に全国有数の進学校に変貌を遂げました。横浜市でも学力・偏差値や進学状況の飛躍的向上を要だと考えます。

主権者教育の充実に向け



仁田まさとし プロフィール
 ■政策経営・総務・財政委員会 副委員長
 ■基地対策特別委員会
 ◇施政方針は「動く、創る、変える。」
 ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
 ④ ライン 情報発信中